

令和6年度 第1回大正区地域福祉推進会議（令和6年7月26日開催）での主なご意見と対応一覧

【当日出された主な意見等】

	意見内容	委員	回答	回答者	対応	備考
1	<b>（前回の意見に対する回答と対応について）</b> なし。	-	-	-	-	
2	<b>（大正区地域福祉ビジョンの次期計画について）</b> 大正区の現状の報告はすごく重たくなります。資料の全体を通して大正区の部分が少しでも良くなっている所が見受けられず、課題が大きいというのが実感です。そのうえで、いろいろな地域福祉課題を解決するための理念、進め方を記載しているのだと思います。自助・共助の仕組みを中心にこの問題を解決して行くと言われていますが、大正区の地域は結構頑張っていると思っています。区役所への相談は少ないとありましたが、逆に知人や知り合いへの相談は多いです。そういうつながりの中で、身近な人たちにも相談に行く関係が維持されていると見て良いと思います。地域で担っている人たちは、積極的に日常の声かけ等の行動を取ろうと思っている人も多いのではないかと思います。 このビジョンが頑張っている人の励みになるものだったら良いと思いますが、逆にもっとやれて言っているものになるとすごくしんどくなると思います。 今の流れでは自助・共助という仕組みになってきているかもしれませんが、公助がもう少し力を発揮してもらわないと、地域自身が疲弊してしまいます。頑張っている人たちが疲弊してしまうことが一番気になります。後継者がついてきてくれるのであれば、地域も先の展望が見えてきますが、後をやってくれる人がいないと言われる人が多い中で、重荷にならないビジョンが必要だと思います。 いろいろな支援機関も大正区では担う人を確保できない厳しい現状があり、支援する側の力をどうやって付けていくのが大事なポイントになると思います。	中村委員	地域で頑張っておられる方がたくさんいらっしゃる、その方にさらに何かやってほしいということを重ねてしまえば、その方が疲弊するのではないかと、「頑張れ、頑張れ」というだけでは前に進まないという意見を頂戴しているものと思います。 この地域福祉計画は、「将来的にこういうふうになればいい」という期待を込めて書かせていただいているもので、そのために誰かが犠牲になってということをお頭に置いたものではないかと考えています。 重くて先に進むのがしんどくなるような部分は考えさせていただければと思います。 3章以降重点的に取り組むことの中で何点かあげさせてもらっていますが、そちらも、できればみんなで一緒にやっていくというふうな、前向きで区役所の方も努力させていただければと思うので、その推移も見ていただければと思います。	貴志課長	いただいたご意見から、「第3章 課題解決に向けた取組の方針」の「2 重点的に取り組むこと（4）地域福祉課題解決への取組支援」に、自助・共助の段階で気づいた「気になること」に、地域や支援団体、区役所等がどのように関わっていくかについて追記しました。	福祉
3	<b>（大正区地域福祉ビジョンの次期計画について）</b> 表現の切り出し方はもう少し工夫できると思います。到達点の説明があると、これだけ課題があるけれど、自分たちはこれだけ頑張っているというところが見える形で示され、足りないところを補足する部分と、到達しているところの後押しの記事もできると、3章以降の参考になると思います。	鈴木委員長				

令和6年度 第1回大正区地域福祉推進会議（令和6年7月26日開催）での主なご意見と対応一覧

【当日出された主な意見等】

	意見内容	委員	回答	回答者	対応	備考
4	<p><b>（大正区地域福祉ビジョンの次期計画について）</b>  お年寄りの人口は変わらないのに、若者層・働く方の量が減っていることが気になります。長く住まれている方はずっと住んでいますから、相談できる関係もできています。大正区の特長ですが半島みたいになっていて、出口は大正駅だけです。仕事に行きにくいとなっています。若者にいかに定住してもらって、住んでもらうか。大正区で仕事を見つける、住み良い環境を作らなければならないと思います。若者が未来を見られるものが大正区にあれば良いと思います。仕事を増やす、大規模な開発をする等。若者が増えなかつたら活気が出ないと思います。その対策は、このビジョンにはあまり載っていないと思うので、考えてもらいたいです。</p>	中山委員	<p>直接的に福祉の活動を盛んにすることが若者を呼び込んでくることにダイレクトにつながるかどうかは分かりませんが、やはり福祉の施策が充実している、あるいは事業所さんが、あるいは区役所がきちんと福祉に向かって対応するということができていれば、ここは住みやすいまちだということになって、人口増の一助になればよいと思っています。</p> <p>福祉のビジョンには書き込めないところがありますが、別途、「大正区将来ビジョン」の中で議論させていただいて記載しています。大正区はエリア価値向上事業というものをやっています。例えば「トンボロマルシェ」というものをやって、大正駅周辺だけではなく、千島公園や大正区エリアのど真ん中辺りまでにぎわいをまず持ってこよう、それを定着させていこう、という事業をしました。いろいろな活動地点が大正区にもあるよ、そして大正区は住みやすいまちだよと知っていただけるような事業を取り組んできました。</p> <p>その中で、マルシェに参加してくれた事業所さんが3社くらい実際に大正区にお店を出してくれました。人とのつながりを1回体験していただければ、大正区は本当に良いところだ、住んでみたい、あるいは店を出すなどの投資をしてみたいなど、「住めば都」ということが分かっていただけるポテンシャルが大正区にはあります。</p> <p>そこはしっかりと普及しながら、福祉人材も含めて、ぜひ最終的にはつながっていくよう事業をしていきたいと思っています。</p>	<p>貴志課長</p> <p>古川区長</p>		市民協働

令和6年度 第1回大正区地域福祉推進会議（令和6年7月26日開催）での主なご意見と対応一覧

【当日出された主な意見等】

	意見内容	委員	回答	回答者	対応	備考
5	<p><b>（大正区地域福祉ビジョンの次期計画について）</b> 大正区は初めて親になった年齢が若い人が多い。大正区版ネウボラということで、妊娠期から中学校までの切れ目のない支援に大正区は力を入れる。子育て層は働く年齢層でもありますので、就労と子育ての両立という難しいところに大正区は力を入れているという部分の打ち出し方であったり、明石市が子育てに力を入れることで人口増につなげたことなどを参考にしながら、やっていることの意味づけを様々なものと紐づけて広報していくのも、地道な活動を人口増につなげていく方法になると思います。</p>	鈴木委員長	<p>若い年齢で初めて親になる人が多いというのは、子育ての手が多いということもあると思います。3世代続けて大正区に住んでいらっしゃる、祖父母が近くにいるという方も非常に多いです。子どもができたことで大正区に戻ろうという人が結構います。手が多いということから、早めに親になっても大丈夫という人がいるのも事実だと思います。</p> <p>また、子どもを沢山産みたいという人が多いのが大正区の特徴だと思います。沢山産むために1番目を産む年が早いというのも多分あると思います。これが大正区の人材にもつながりますし、住み良さ、あるいは子育てのしやすさが上がる動かぬ証拠でもあると思うので、こういったところをアピールしていきたいと思っています。</p>	古川区長		こども・教育
6	<p><b>（大正区地域福祉ビジョンの次期計画について）</b> 統計の説明をされる時に、大阪市とその区だけが比べられることが多く、大阪市内でこの区だけこんなやというマイナス評価を受けるような印象を受けてしまいます。大阪市内のほかの区もよく似た課題を抱えているかもしれないことが市対区の統計だけだと見えてこないで、ほかの区も大正区と同じ状況があってこうされているんですよという比較ができるような統計の説明の仕方をしてもらえるとありがたいです。その中でどこを頑張るのかがもう少し具体的にほかの区に比べて認識できるような形にしてもらえるとありがたいです。</p> <p>何年か前に社協さんの会議に出た時に、見守り推進員の方々が、このまちで、この区で子どもを育てたいとおっしゃっていました。小さい時から育て、この区で子育てをしたいという声が出て、大正区内の地域の力を再認識しました。若い人の人口が増えることと、地域で支えている人たちが実は陰にたくさんいらっしゃることを良い方向に結び付けていくことがこれからやってほしい課題です。そこを見据えて地域福祉が進められていくような、大正区の方々が誇りに思っていることを大切にしていってほしいし、障がい者を受け入れてもらって一緒に楽しく作り上げていきたいので、これも書き込んでほしいと思います。</p>	姜委員	<p>統計処理について、市内での比較が主で大阪市と大正区の比較というデータがたくさんあるので、それをうまく使ってこの場でのいろいろなビジョンを作成しています。他区と比較した部分という点については、大阪市は横並びで、これはこの区が出っ張っていて、この区は引っ込んでいるという風にはあまり触れず、日ごろからそういう比較はあまりしていません。</p> <p>オール大阪全体が上がっていくように目指しているので、〇〇区と比べてもっと頑張った方がいい、〇〇区と比べれば大正区は素晴らしいという言い方はあまりしてきておりません。</p> <p>どんな形でここに載せられるかはまた判断させていただきますし、24区比較の統計でみると表記がしにくいので、大阪市が全国的にどんな位置にあるかを追記する方法を検討させていただきたいと思っています。</p>	古川区長	<p>統計データの中で、取り入れられるものについては、全国・府などの数値と大阪市・大正区の数値を比較して見ていただくことができるように記載しました。</p> <p>例えば、平均寿命及び健康寿命について、国の数値を見ますと、男性の平均寿命で81.5歳（大阪市79.6歳、大正区78.8歳）、健康寿命は80.0歳（大阪市77.6歳、大正区77.1歳）であり、女性の平均寿命は87.6歳（大阪市87.3歳、大正区86.6歳）、健康寿命は84.3歳（大阪市83.2歳、大正区82.8歳）となっており、いずれも大正区及び大阪市より高い数値となっています。（令和3年）</p> <p>特定健診の受診率について、国の数値を見ますと、36.4%と大阪市の22.8%、大正区の22.5%に比して、高い数値となっています。（令和3年度）</p> <p>なお、がん検診については、事業の対象年齢に違いがあり、正確に比較するには困難な状況です。</p>	福祉
			<p>地域での活動を支えている方がたくさんおられるということについては、私もそう思っています。見守り推進員を各連合から1名お願いしていますが、これはほかの区でもある区もありますが、ない区もあって、大正区全10地域に見守り推進員がおられることは、大正区の強みとして、暮らしやすいまちにつなげていくことが大事と思っています。</p>	北吉副区長		

令和6年度 第1回大正区地域福祉推進会議（令和6年7月26日開催）での主なご意見と対応一覧

【当日出された主な意見等】

	意見内容	委員	回答	回答者	対応	備考
7	<p><b>（大正区地域福祉ビジョンの次期計画について）</b>            小学校や中学校のバレーボールのチーム員募集を見て、PTAとか親御さんが活動している時に子どものことで悩みがあったりすると、悩みが共有できたり、ネットワークができるのではないかと思います。小学校・中学校を卒業しても、そのスポーツチームの活動に引き続き参加していると、年を重ねて、親の介護へつながってきて、誰に相談したら良いのかなとなった時に、そのメンバーに相談できるネットワークができて子育てもしやすい関係になるのかなという所で、例えば、地域ごとのトーナメントをするとか、スポーツを通じて子育てや高齢の方、障がいがある方との付き合いも出てくるかもしれないので、そういうことも視野に入れても良いのではと思いました。</p>	藤田委員	<p>大正区の老人福祉センターでは、毎日たくさんの高齢の方が様々な活動をされてにぎわっていて、ここは大正区の良いところだと思っています。いろいろな地域でいろいろな活動ができると素晴らしいと思いますが、地域の負担感等もありますので、どういった試みが良いか改めて研究させていただいて、スポーツなり、何かの活動でつながりづくりが進んでいくなものを作り上げればと思っています。</p> <p>また、老人福祉センターでの活動は大正区では男性の参加率も多いということも一つの大きな特徴だということでご紹介させていただきます。</p>	貴志課長	/	市民協働
			<p>大正区の子ども・子育てプラザは部屋数も多く、いろいろな活動ができるポテンシャルのあるいい施設だと思っています。</p> <p>スポーツについて、9人制のバレーボールの話がありましたが、区長杯という名前も付けていただいて、地域のチームが10チームくらい参加して、大賑わいの中行われました。キックベースやソフトボールも盛んで、そういったスポーツを通じた活動も地域のつながりにつなげれば良いなと思うところです。</p>	北吉副区長		
8	<p><b>（大正区地域福祉ビジョンの次期計画について）</b>            この統計を見ると、地域にお住いの方が困っていることを相談できるのは家族や地域の方のほかに、民生委員・児童委員との方が大正区は大阪市の平均より高いです。地域がすごく密着している、地域の力はすごいんだな、素晴らしいなと思いました。同時に、行政とか、病院、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師が大阪市平均より低く、私たちが頑張らないといけないなと思いました。</p>	鈴木（理）委員	-		<p>困っていることを相談できるのが、大正区は家族や地域の方、民生委員・児童委員という割合が高く、そこに地域が密着していることが表れているという視点を、統計の分析の中に取り入れて記載しました。</p>	福祉

令和6年度 第1回大正区地域福祉推進会議（令和6年7月26日開催）での主なご意見と対応一覧

【当日出された主な意見等】

	意見内容	委員	回答	回答者	対応	備考
9	<p><b>（大正区地域福祉ビジョンの次期計画について）</b> 障がい者虐待の通報件数が、令和2・3年度とゼロだったのに急に増えたのでしょうか。地域の人の見守りがしっかりしているから見つけていただけるのか、説明をいただきたいです。</p>	鈴木（理）委員	<p>虐待の発生自体はあってはならないと思っておりますが、通報件数を見ていただいたらお分かりのように、虐待かもしれないということで通報をいただいて、そこからわれわれが調査・聴き取りをさせていただくことになります。通報の件数は市全体で増加傾向にあります。それは周りの方が、「これは虐待かもしれない」と目をそらさずに言っている結果で、通報をいただいているということは、地域の皆さんがいろいろなところに気を配っていただいているということだと思います。何か普段と異なることを感じた時にちゅうちゅうなく行動に移せる社会、大正区を作っていくのがわれわれの使命だと思っております。</p>	貴志課長		福祉
10	<p><b>（大正区地域福祉ビジョンの次期計画について）</b> 私たち三師会にも関係することですが、政令指定都市の中で、大阪市は非常に特定健診受診率、がん検診受診率が低いです。その大阪市の中でも大正区はもっと低いです。受診率をあげる、それで健康寿命をあげる、全部が全部頑張るって良くするのは難しいので、どこか1箇所でもいいから、とりわけて一番取りたいと思います。 万博のいのち輝く未来社会のデザインというテーマもありますので、健康にはしっかり力を入れていただきたいです。</p>	鈴木（理）委員	<p>区役所の広報紙で毎月紙面を取って健診日程をお知らせしていますが、実際に来ていただけるように、これからもしっかり広報していくことが大事と思っています。これからも周知をしっかりとやっていきたいと思っております。</p> <p>今年のテーマとして、万博のプレ・イベントとして、オクトーバーフェストというのを秋にやります。10月27日に予定していますが、ここを皮切りに大正区を健康長寿に向けた取組のまちであるというアピールをしていこうと思っています。私自身は、今年度、健診受診率アップのためのキャンペーンの元年だと思っております。そのオクトーバーフェストの中で、テーマを万博からお借りして、「健やかな未来のデザイン～健康シンポジウムin大正～」という名前でキャンペーンを打ちます。</p> <p>今年度は健康増進のチームが、保健師・栄養士たちの英知を集めて、健康リーフレットを自前で作っています。これを区内全戸配布し、健診の受診についても訴えかける予定です。</p>	北吉副区長  古川区長	<p>大正区民の健康寿命の延伸のため、特に、特定健診・がん検診の受診率向上、喫煙率の改善に力を入れており、様々な啓発活動を行っています。</p> <p>具体的な内容については、健康に興味を持ってもらえるような情報（例えば、2人に1人はがんになる、がん細胞の大きさが1cmになるには、10年～20年かかるが、1cmから2cmに大きくなるのは1～2年であり、この時に早期発見できるから定期的に検診を受ける必要があるなどの情報）を発信し、区民の方が自分の身体に興味を持っていただくきっかけをつくり、意識改革につなげていきたいと考えています。</p>	健康づくり

令和6年度 第1回大正区地域福祉推進会議（令和6年7月26日開催）での主なご意見と対応一覧

【当日出された主な意見等】

	意見内容	委員	回答	回答者	対応	備考
11	<p><b>（地域福祉ビジョンの次期計画について）</b> 2025年から大阪市内は全て路上喫煙禁止になりますが、世界禁煙デーにちなんで、毎年5月31日から6月6日まで、大阪府薬剤師会では、オール薬剤師禁煙ひと声活動を行っており、大正区薬剤師会の全ての薬局でも運動をしています。大阪市のチャチャッと卒煙を勧めたりもしていますので、区役所の方たちにも応援していただきたいです。</p> <p>アルコールの依存は非常に問題ですし、厚生労働省でガイドラインが出たので、三師会でも取り組んでいかないとけないと思っています。同時に薬物依存もあり、薬剤師会も取り組むことがありますので、連携して行っていただきたいです。</p>	鈴木（理） 委員	世界禁煙デーについて、区役所も2階のさわやか広場で世界禁煙デーに対するイベントを行いました。今年度中に、またさらに禁煙関係のイベントも企画しておりますので、区民の健康を守る活動として、禁煙活動にも取り組んでまいりたいと考えております。	貴志課長	<p>大正区の喫煙率は男性35.3%、女性12.0%（令和4年度国民健康保険特定健診データ）とそれぞれ大阪市全区の中で1位、3位の喫煙率の高さとなっており、たばこ対策の取組の推進が必要と考えています。</p> <p>令和6年5月31日には、世界禁煙デーとして、さわやか広場でイベントを実施しました。100人以上の来場があり、来年度も実施していきたいと考えています。</p> <p>また、令和7年1月31日には「知って得する健康寿命の伸ばし方～たばこと健康～」として、済生会泉尾病院の医師と健康経営優良法人の方による講演会を行います。</p> <p>アルコール依存の関係では、酒害教室を実施しており、お酒に対する正しい知識の普及をおこなっています。</p> <p>今後、禁煙や薬物依存等、薬剤師会をはじめ関係機関と連携しながら進めていきたいと考えています。</p>	健康づくり

令和6年度 第1回大正区地域福祉推進会議（令和6年7月26日開催）での主なご意見と対応一覧

【当日出された主な意見等】

	意見内容	委員	回答	回答者	対応	備考
12	<p><b>(地域福祉ビジョンの次期計画について)</b>            児童虐待の問題について、お子さんの支援をかなりきめ細かくされていて、問題のある家庭やお子さんを全員把握して、ほぼ100%支援につなげるとなっていますが、それでも虐待が減らないという関係性がどうなっているのかなと思います。これだけきめ細かくやっても減らないということで、その原因、方針や取り組み方に何か問題点がないのか等、検討されていることがあれば教えていただきたいです。</p>	中村委員	<p>児童虐待の件数は、大正区は他区に比べて多い傾向があります。そのことから、安心して子育てができる環境づくりを目指しています。いわゆる児童虐待の未然防止を図り、重大な虐待ゼロを目指すことを掲げて、大正区版ネウボラ、妊娠期から中学生までの切れ目のない支援体制を実施しています。</p> <p>4・5歳児の子どもに対しては、保育所や幼稚園に行って、課題がないかをスクリーニングしながら児童虐待の未然防止に努めています。</p> <p>児童虐待がゼロになるように、保育所、幼稚園、小学校、中学校までの切れ目のない支援を通じてしっかりと啓発し、また、いつでも何かあれば区役所に相談してほしいということも周知しながら、しっかり大正区版ネウボラを推進していくことによって、児童虐待を減らしていきたいと考えています。</p>	前田課長	/	こども・教育
			<p>児童虐待がなぜ減らないのかということでは、例えば、スクリーニングの元の設定条件に虫歯があることも1ポイント、さらにいくつか重なって複合的になった場合に、この子は虐待の恐れがあるとしてスクリーニングにかけていくのですが、大阪市の場合は、このスクリーニングの出だしが結構厳しくなっているため、基本的にたくさん案件があがってきます。</p> <p>特徴的なのは、大正区では面前DVが多いです。いわゆる、親が子どもの前で配偶者を罵倒する、あるいは夫婦げんかかもしれません。これも含めて一旦は虐待要因にあがってしまうため、そもそも虐待なのかという点をしっかり見分けていく必要があります。結局、一旦あがってきた候補者たちをスクリーニングにかけていく作業をしていますので、一定の分母がでしまうということだけはご説明しておきたいと思います。</p>	古川区長		

令和6年度 第1回大正区地域福祉推進会議（令和6年7月26日開催）での主なご意見と対応一覧

【当日出された主な意見等】

	意見内容	委員	回答	回答者	対応	備考
13	<p><b>（地域福祉ビジョンの次期計画について）</b> 健康診断・がん検診の受診を広げていくという所で、シンポジウムの話や宣伝、啓発活動を重視していくという方針が示されました。</p> <p>自らの健康は自ら守るという認識と自覚を高めると書いてありますが、高まらない人はたくさんいます。私の所属している生協では、地域ごとに支部があるので、検診の意味合いや健康は大事だということや、健診はどんな中身なのかを学習しながら、その支部丸ごとつながり、組織を作って、がん検診に行くなどしています。</p> <p>宣伝をするだけではなくて、地域の細かなところに入って行きながら、健診の意義を伝えたり、みんなと一緒に来てくださるか、実際に健診に足を運んで行くところまで行くような方針の具体化をしていただくと一定数上がっていくと思うのですが、ここはなかなか強敵だと思うので、かなり力を入れてやっていかないといけない課題だと思います。</p>	中村委員	-		がん検診の受付について、地域イベント等に出向き、直接区民の方にお声がけするなどして申込受付などを行っています。また、保健師が区内各地域に行き区民の方にお会いして、がん予防の話などをわかりやすく情報発信をしています。	健康づくり
14	<p><b>（地域福祉ビジョンの次期計画について）</b> 地域福祉課題解決の取組支援ということで地域の課題を社協と連携して進めていくということに加え、地域福祉と人材がつながる場という部分をセットで書いておいた方が、地域づくりプラス、地域と関わるような方々も、地域福祉と人材がつながる場というところで後押ししていくところが重要になってくると思いますので、いろいろな事業をあげていただきましたが、その趣旨を踏まえて二本立てで、具体的な事業というのを取組の方向性、将来像というところでリンクさせていった方が良いと思います。</p>	鈴木委員長	地域福祉と地域の人材などをつないでいくという将来像はとりわけ大事だと思います。すぐに具体策としてこれをやれば解決するという書き方はできませんが、こういう方向性に向かってやっていくよということを提示した上で、複合的な視点を持ち合わせたビジョンになるようにしっかりアピールしていきたいです。いただいたご意見等も踏まえて仕上げを固めていきます。	古川区長	いただいたご意見から、「第3章 課題解決に向けた取組の方針」の「2 重点的に取り組むこと（4）地域福祉課題解決への取組支援」に、地域と各種支援団体、区役所と各種支援団体とのつながりや人材の交流等について追記しました。	福祉

令和6年度 第1回大正区地域福祉推進会議（令和6年7月26日開催）での主なご意見と対応一覧

【当日出された主な意見等】

	意見内容	委員	回答	回答者	対応	備考
15	<p><b>（地域福祉ビジョンの次期計画について）</b>            小学校に歯科健診に行っていますが、虫歯の多い子はよく学校も休んでいますし、不登校になっていたりする子が多いです。学校に行くよう声かけをしますが、返答がちよっと悪いです。家庭の事情を子どもは言いにくいですし、子ども自身は親に氣遣っています。無理やり行かせることもできません。            去年歯医者に行くよう言ったのに全然行っていない子がいっぱいいて、虫歯がたくさんある子は行かないです。そういう家庭状態が分かりやすいような気がしますが、親御さんが連れて行かないとか、かわいそうだと思います。僕らは先生には言いますが、本当は役所に言った方が良いでしょう。</p>	中山委員	—		<p>学校における歯科健診の結果で、虫歯が多い児童生徒又は口腔内の状況が著しく悪い児童生徒がいる場合については、児童虐待の可能性もあることから、まずはその内容を学校にお伝えください。</p>	こども・教育

令和6年度 第1回大正区地域福祉推進会議（令和6年7月26日開催）での主なご意見と対応一覧

【当日出された主な意見等】

	意見内容	委員	回答	回答者	対応	備考
16	(ご意見シートより) <喫煙率>大正区薬剤師会の取組への協力	鈴木(理) 委員	-		<p>大正区の喫煙率は男性35.3%、女性12.0%（令和4年度国民健康保険特定健診データ）とそれぞれ大阪市全区の中で1位、3位の喫煙率の高さとなっており、たばこ対策の取組の推進が必要と考えています。</p> <p>令和6年5月31日には、世界禁煙デーとして、さわやか広場でイベントを実施しました。100人以上の来場があり、来年度も実施していきたいと考えています。</p> <p>また、令和7年1月31日には「知って得する健康寿命の伸ばし方～たばこと健康～」として、済生会泉尾病院の医師と健康経営優良法人の方による講演会を行います。大正区の喫煙率を下げて、区民の健康寿命延伸を目指して、薬剤師会をはじめとした関係機関と連携して参りたいと思います。</p> <p>これまで、毎年10月開催のみんなの健康展へのご参画や、「在宅医療マップ」作成時には、区内の薬局の所在地や連絡先を掲載し、区民・区内関係機関に配布するなど、連携協力体制は構築されていると認識しております。</p> <p>さらに、区民の健康づくりに関する啓発ポスター等については、薬剤師会等に掲出依頼をさせていただきなどご協力いただき、1月31日の講演会の啓発について掲出依頼するなど、今後も、連携協力しながら様々な取組を進めてさせていただきたいと考えております。</p>	健康づくり
17	(ご意見シートより) <薬物依存>薬剤師会でオーバードーズのP R動画を作成しております。活用協力をお願いします。	鈴木(理) 委員	-		<p>保健福祉センターは、精神保健福祉に関する区民の身近な相談窓口です。市販薬でも過剰摂取など間違った使い方をすると、薬物依存症になるリスクがありますので、薬に関する正しい知識の情報発信は重要な問題と考えています。</p> <p>区役所のホームページから当該ページにリンクを貼るなど、啓発を行ってまいります。</p>	健康づくり

令和6年度 第1回大正区地域福祉推進会議（令和6年7月26日開催）での主なご意見と対応一覧

【当日出された主な意見等】

	意見内容	委員	回答	回答者	対応	備考
18	<p><b>(ご意見シートより)</b> 他の委員からも出していた地域活動者の疲弊は非常に感じる ところである。地域福祉課題を認識していても、それを解決して いくための担い手確保をどのように行っていけるか、人口減少と 高齢化の中、非常に厳しい状況にある。</p>	松田委員	-		<p>大正区の高齢化率は高くなっていますが、元気な高齢者が 増えればまちの活性化も期待できることから、次期計画に新た に取り入れた健康寿命の延伸の取組を通して、まちの活性化 につなげていきたいと考えています。</p> <p>例えば、社協の取組として、有償支えあい活動「ちょこ助」とい うボランティア活動の制度がありますが、認知度が低いという課 題もありますので、区役所でも様々な工夫を凝らしてPRをす ることで、活動に参加していただける方を増やしていけるよう工 夫してまいります。</p> <p>また、地域福祉活動に参加する時間的な余裕がない人 には、普段の生活をしながら高齢者や子どもたちを見守る「なが 見守り」を、地域福祉活動に関心はあるものの情報不足から 参加に至っていない人に対しては、ふれあい喫茶や子育てサー クルのように、だれもが気軽に参加できる活動の場や、参加しや すい活動事例の情報をホームページやSNSなどによりわかりや すく発信していくことで、担い手の確保に努めます。</p>	福祉
19	<p><b>(ご意見シートより)</b> 見守り推進員への役割が大きく取りあげられているが、現行 の業務時間での対応でどこまで期待される役割を担えるか、や や不安に感じるところがある。</p>	松田委員	-		<p>大正区では、各地域に「見守り推進員」を配置することで、 各地域の実情に見合った方法による見守り体制の構築ができ るよう支援することとしています。「見守り推進員」がすべてを担 うのではなく、例えば通勤・通学、買い物や散歩などの外出の 際や、玄関前の掃除や花の水やりの際など、普段の生活をし ながら子どもたちを見守る「なが見守り」など、地域が取り組み やすい工夫を提案すること等により、地域の見守り力の向上を 図ってまいります。</p>	福祉

令和6年度 第1回大正区地域福祉推進会議（令和6年7月26日開催）での主なご意見と対応一覧

【当日出された主な意見等】

	意見内容	委員	回答	回答者	対応	備考
20	<p><b>(ご意見シートより)</b></p> <p>「断らない支援」の表現について、断らない＝入った相談全てに対応する、の意と捉えられない表現が必要ではないか。専門職は断ることを含めて「断らない支援」と理解できるだろうが、区民等には誤解を与えてしまう表現になるのではないか。注釈などあれば良いのではないか。</p>	松田委員	—		<p>生活困窮者自立支援制度は、就労の状況、心身の状況、地域社会との関係性など生活困窮者が抱える様々な状況に応じ、自立相談支援事業を中核として、早期に包括的な支援を行うものであり、包括的な支援の入り口である「相談」については、社会的孤立や生きづらさなども含め、様々な経路からの相談を受け止める必要があることから「断らない相談支援」としています。</p> <p>また、生活困窮にかかる相談者には複合的な課題を抱えた世帯も多いことから、相談された支援機関が全て抱えるのではなく、「つながる場」等を活用しながら他の支援機関と課題を共有することで解決方法を探るなど、連携して取組を進めています。</p>	福祉